

子どもが自分で話したくなる お母さんになる方法

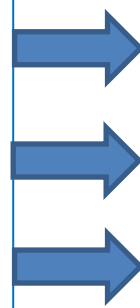
子どもは給食、ちゃんと食べた？
子どもの友達関係どうなっている？？
子どもは集団生活でどうしている？？

子どもの毎日、気になるよね。
そんな毎日、子どもからドンドン話したくなる
お母さんになってみたくありませんか？

《聞きたい聞きたい～子どもの行動》



- 「今日はどうだった？」
- 「給食は食べた？」
- 「何が楽しかった？」



「別に」「いつもと同じ」
「食べた！！」
「忘れた！！」

これは尋問です！！



ちゃんと答えてよ～！！

お母さんが聞きたい事を聞く



これは、子どもにとって楽しい会話ですか？

お母さんの不安を解消、満足を得るための
会話を楽しい会話とは呼びません！！

子どもたちが話したいことを自ら話す会話を
知ってくださいね。

普段の会話との違いを知ろう

ママ友との会話

相槌、共感、質問、同調などを繰り返し

⇒ 主役が入れ替わっていませんか？

子どもとの会話

子どもの見てきたもの、感じた事を大好きなお母さんに伝えたい

⇒ **子どもの会話の主役は子供**

これさえ守れば、ドンドン子どもは話します！！

どうしたらいいの??

- 1) 途中で会話を遮らない
- 2) 「受け止め言葉」を使う
- 3) 「相槌」「オウム返し」を繰り返す
- 4) 目を合わす
- 5) 聞く姿勢
- 6) 伝えたい感情を受け止めてあげる

1)途中で会話を遮らない

- お母さんの感情で意見を押し付けない
「そんなことして大丈夫？」
「こうしたほうが良かったんじゃない？」
- 質問ばかりしない
「その時、〇〇ちゃんはどうしていたの??」
「お友達とはこう遊ばなきゃ」

2) 受け止め言葉を使おう

とりあえず・・・

「そうなんだ～」 「なるほどね～」

たとえ、共感できないことであっても、一旦受け止めてあげる。

そうすることで、こちらの言葉も聞きやすくなる。

頭から否定する人に次の話をしたいと思いませんか?? 笑

相槌、オウム返しを繰り返す

人に好感を抱く方法

「うんうん」「〇〇なんだ～」「そう思ったんだ～」
文末を拾い、繰り返してあげることで相手は
聞いてもらっていることを実感します。

デメリットを防ぐために、必ず「受け止め言葉」と
セットにしてください。

目を合わせる

- 育児中は何かと忙しい👩
- せめて会話の時だけは、しっかりと目を合わせてください。
- 会話がなくても、見つめるだけでも効果大！！



聞く姿勢

- 前かがみで話を大げさに聞いてみて。
(大げさな態度じゃないと伝わらないのです)
- 言葉を耳で聞いてみて。
(表情から、あれこれ勝手に推測しない)
- 楽しそうに聞いてみる
(早くしてよ～つまらない。は伝わります)

感情だけを聞く

- その時、どうした??と、お母さんは子どもの行動が気になることが多い。
- でもね。子どもは雑談がしたいわけではありません。
- 「〇〇した」という行動はいったん置いておいて「楽しかった」「面白かった」「悲しかった」「嫌だった」などの感情だけを聞いてみてください。
- 話すことで、何を伝えたいのか・・・よく考えてみてください。



あなたと子どもは別の人格です

- 子どもは所有物ではありません。
- 話をする時も、意見を押し付けないように
- まだ未熟だから、正しいわけではないけれど、その時感じた感情は、子どもの姿です。
- そのままを知って、受け止めてあげてください。

